

安井小学校 学校だより

第1回 学校評価特別号

令和5年10月
京都市立安井小学校
校長 谷垣 賢
Tel 075-841-3130 fax 075-811-3333
HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/>

☆令和5年度 第1回 学校評価のまとめ☆

6月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

<学校生活について>

安井小学校では、「輝く安井の子の育成 ～自分から そして自分たちの力で～」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育が目指す子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の3つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気に健康な子」の育成を目指しています。

学校評価アンケート結果のうち、「友だちに仲良く、優しく接している。」の項目で、低学年で約94%、高学年で約98%の児童ができていますと答えています。また、保護者アンケートでも約99%が「子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。」と回答しています。昨年度同様、よい結果が出ており、自分も人も大切にすると人権の意識の高まりがあるとともに、目指す子ども像の一つである「やさしく思いやりのある子」に近づいていると考えられます。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)ともだちになかよく、やさしくせつしている。	78.43%	15.69%	3.92%	1.96%
(高学年)友だちに仲良く、優しく接している。	71.57%	26.90%	1.52%	0.00%
(保護者)子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	45.45%	54.01%	0.53%	0.00%

<学習について>

「授業の内容はよくわかる」という問いに対して低学年・高学年共に約96%がわかると答えています。また、保護者の約99%が「学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。」と答えています。これに対して「授業中は自分から進んで学習したり、発表したりしている。」では、低学年の約4%、高学年の約19%が主体的に学習に取り組めていないと思っていることが分かりました。昨年度の、低学年8%・高学年23%と比べるとどちらも主体的に学習に取り組んでいると実感して

いる児童が増えていますが、高学年になるにつれて授業に積極的に参加できていないと感じる児童が増える傾向にあります。発達段階ということもありますが、より主体的に授業に参加できるように、意見を発表することの達成感や意見交流での深まりを実感できるようにしていきたいです。具体的には、GIGA 端末を活用しながら、意見交流をしていくことや考えを認め合いながら、話し合いができるような場の設定を考えています。「すすんで学習を進める子」の実現のために、今後も授業の質を高めるように努め、家庭学習の習慣化を図れるよう家庭との連携を深めていきたいです。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)じゅぎょうのないようは、よくわかる。	64.71%	31.37%	1.96%	1.96%
(高学年)授業の内容はよくわかる。	58.38%	38.07%	3.55%	0.00%
(保護者)学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	49.73%	49.20%	1.07%	0.00%



<みそあじについて>

本校で取り組んでいる「㊦じたく㊦うじ㊦いさつ㊦かんを守る」運動の結果です。

「みじたく、学校の準備ができる」については低学年の約96%、高学年の約92%ができると答えています。保護者の回答でも、約88%で、概ねできているといえます。しかしながら、赤白帽の忘れ物や学習用具の忘れ物が見受けられます。お忙しいと思いますが、持ち物のご確認とお声かけを引き続きご家庭でもよろしくお願いします。

「そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。」については、低学年で約96%、高学年の約88%ができていると答えていて、昨年度よりも掃除や身の回りの整頓への意識が高くなってきています。掃除は10分という短時間ですが、担当場所を隅々まできれいにしようと頑張っています。先日、教員が草木を整理していると子どもたちから「ありがとうございます」という言葉かけがありました。自分たちの学校は自分たちの手できれいにしていくという意識の表れだと思い、感心しました。今後も、美化委員会と連携

しながら、進めていきたいと思ひます。



「あいさつを進んでできる。」については、低学年で約 92%、高学年で約 96%の児童ができています。昨年度と同様にあいさつを進んでできていると実感できている児童が多いです。ただし、低学年については昨年度よりもできていると答えた児童が少なくなりました。実際に夏休み明けすぐの頃には、元気なあいさつの声が以前より減ったと感じることもあり、各担任があいさつの大切さについて子どもたちと話し合いました。今後も、進んであいさつできる子どもたちが増えるように、あいさつのすばらしさを全校に発信していこうと思ひます。

「時間やルールを守って行動できる。」については、低学年で約 96%、高学年で約 99%の児童ができると答えており、子どもたちの意識がかなり高くなっています。特に時間を守ることに関しては、授業の開始までに子どもたちが着席をすることができ、スムーズに授業が開始できています。また、ルールに関しても、教室移動のときや教室での過ごし方など学校のきまりを意識できていると感じます。今年度の意識の向上が学校生活をよりよくしています。全校で、よき姿を共有しながら、高学年を中心に安井小学校をさらによくしていくために、今後も「みそあじ運動」の取組を推進していきます。

(低学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、がっこうのじゅんぴができる。	70.59%	25.49%	1.96%	1.96%
そうじ、みのまわりのせいり・せいとんができる。	64.71%	31.37%	1.96%	1.96%
あいさつをすすんでできる。	60.78%	31.37%	3.92%	3.92%
じかんやルールをまもって、こうどうできる。	74.51%	21.57%	1.96%	1.96%

(高学年)	よく出来ている	だいたい出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	58.38%	34.01%	7.61%	0.00%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	49.24%	39.09%	10.15%	1.52%
あいさつを進んでできる。	70.05%	26.40%	3.55%	0.00%
時間やルールを守って行動できる。	52.79%	46.19%	1.02%	0.00%

(保護者)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	32.09%	56.68%	10.70%	0.53%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	15.51%	45.45%	34.76%	4.28%
あいさつを進んでできる。	24.06%	53.48%	21.39%	1.07%
時間やルールを守って行動できる。	26.74%	54.01%	18.72%	0.53%

＜早寝・早起き・朝ごはんについて＞

「早寝・早起き・朝ごはんができています。」と答えたのは低学年で約 90%、高学年で約 82%です。保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約 72%、「子どもは朝ごはんを毎日食べている。」は約 97%となっています。

「早寝・早起き・朝ごはん」についてできていると答えた児童は低学年・高学年共に 2 %程上昇をしております。保護者の皆様が意識してお声かけいただいた結果だと思ひます。ご協力ありがとうございます。「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は子どもたちの健やかな体の成長や心の発達に大きく関わります。基本的生活習慣の確立が普段の生活や学校生活をよりよくするのは間違いありません。また、頭の働きにも影響を及ぼすとも言われていますので、今後とも「早寝・早起き・朝ごはん」の規則正しい生活リズムの確立をお願いしたいです。

令和 5 年度第 1 回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見をしっかり受け止め、今後の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。

